

1 県の取組み状況(令和6年度)について

(1) こどもたちが笑顔で育つ熊本

<(施策1)こども・若者がキラキラ輝く社会づくり>

「こどもまんなか熊本」の実現に向けた取組み

【目的】 こども・若者がキラキラ輝き、県民が家庭や子育てに夢を持てる「こどもまんなか熊本」の実現

【概要】

- ◆「こども未来創造会議」を設置。
- ◆当事者・関係者からの意見を踏まえ、「こどもまんなか熊本・実現計画」を策定。



▲ こども未来創造会議(意見聴取)

障がい者や若者への自立支援

【目的】 障がい者の職業生活における自立促進

【概要】

- ◆障害者就業・生活支援センターを県内6箇所に設置し、就業相談や就業支援、職場実習のあっせん及び就業に伴う日常生活支援等を実施(相談・支援件数:16,548件、一般事業所等への就職件数:340件)。
- ◆就労支援事業「地域若者サポートステーション事業」において臨床心理士によるカウンセリングやセミナー開講のための支援を実施(相談者数:2,648名、就労:217名)。

<(施策2)家庭や子育てに夢を持てる社会づくり>

妊娠・出産への支援の充実と 安心して出産できる環境づくりの推進

【目的】 経済的負担の軽減と
総合的な周産期医療体制の充実

【概要】

- ◆不妊治療費や、遠方の分娩取扱施設において出産する妊婦への交通費等の補助を行う市町村への助成。
- ◆周産期母子医療センターの運営等への助成や周産期医療協議会の開催(2回)。
- ◆くまもとメディカルネットワーク(KMN)等を活用した医療機関間の情報連携の推進。

ブライ企業認定制度の推進

【目的】 「ブライ企業」の増加と従業員の労働環境や処遇の更なる向上

【概要】

- ◆ 223社(新規113社、更新110社)を認定。認定企業は510社(R7.3末時点)。
- ◆改正育児・介護休業法やZ世代との向き合い方をテーマとしたセミナーを開催(70人参加)。



▲ ブライ企業
シンボルマーク

1 県の取組み状況(令和6年度)について

(1) こどもたちが笑顔で育つ熊本

<(施策3)質の高い教育・未来を担う人材の育成>



安全・安心な学校づくり

【目的】 いじめの未然防止及び早期発見・早期解消、不登校児童生徒への支援

【概要】

- ◆スクールカウンセラーを市町村立小中学校等に87名、県立学校に38名、スクールソーシャルワーカーを市町村立小中学校等に23名、県立学校に8名を配置。
- ◆「不登校児童生徒への支援に関する協力者会議」を新たに設置。今後の不登校児童生徒への支援方策について協議・検討。

学校現場の人材確保・育成、環境整備

【目的】 多様な人材の確保・掘り起こし、働き方改革の推進

【概要】

- ◆大学・民間企業との連携会議を開催(教員確保に向けた意見交換)。
- ◆パーパーティーチャー講習会を開催(計3回、111名参加)。
- ◆モデル学校における働き方改革の阻害要因の調査・分析、働き方改革支援アドバイザー派遣による業務改善支援を実施(市町村立6校、県立4校)。
- ◆調査・分析結果及び改善事例をまとめたハンドブック並びに事例集を作成。



▲パーパーティーチャー講習会

グローバル人材の育成

【目的】 外国語教育、国際教育の充実

【概要】

- ◆国際バカロレアの認定に向けた取組を県立八代中学校・高校で実施。令和7年2月に八代高校がDP(ディプロマ・プログラム)候補校に認定。
- ◆中学3年生対象の外部検定試験受験料を補助(42市町村)
- ◆英語運用能力育成や海外大学進学の実践的指導等を行う海外チャレンジ塾を実施(49名受講、3名が海外大学へ進学決定)。
- ◆州立モンタナ大学高校生派遣事業で、高校生18人、教員等3人をモンタナに派遣。



▲海外チャレンジ塾
(英語でのプレゼン)

県立高校の魅力向上

【目的】 魅力ある高校づくりの推進

【概要】

- ◆「熊本スーパーハイスクール(KSH)構想」に基づいた魅力化・特色化。
- ◆全ての県立高校が一堂に会する「県立高校学びの祭典」の開催(来場者:約3,500人)。
- ◆高森高校マンガ学科や水俣高校半導体情報科など、地元企業等と連携。



▲水俣高校半導体情報科



▲高森高校マンガ学科